

內科秘錄

十

內科秘錄卷之十

目錄

黃胖

消渴

白濁

尿血

遺精

強中病

汗證

雷震死

伏氣死

凍死

驚怖死

自縊死

鬼魘

黃粗

目殺

尸和利金卷一

内科秘録卷之十

水戸 棗軒本間救和卿 著

黄胖

黄腫病

黄胖病

黄胖ハ古ニ見ヘス元末以降ノ諸家其證治ヲ論シタ

レ氏是ヲ黄疸ニ混シテ明辨ナシ或ハ黄疸ト同病

ニ心得テ茵陳蒿ヲ用ヒタル者アリ捧腹絶倒スヘ

キヲナリ黄疸ト黄胖ノ其因自ラ異ナルヲ審ニ水

炭ノミナラスニ病氏ニ黄ヲ以テ稱スレ氏黄疸ハ

發黃ニシテ黃胖ハ萎黃ナレハ其黃自ラ同シカラ
ス又黃疸ハ初發ヨリ白睛黃^{キハ}ニ黃胖ハ久ヲ歷ルト
雖氏白睛變セスニ證ノ同病ニ非ルヲ一目瞭然ト
シテ知ルヘシ

病因血虛ナレ氏血證脾病ノニツアリ時珍ノ本草綱
目綠礬ノ條ニ見ヘタリ脾病ハ常ニ粗糲ヲ食スル
者脾胃自ラ調和セス血液稀薄ニナリ榮養ヲ^{イラ}愆リ
テ此病ヲ發ス產後下血スルヲ過多及ヒ暴漏或ハ
衄血吐血腸風金創出血ノ類亡血過多ナル氏ハ皆
此證ヲ發ス然レ氏其因殊ナル氏ハ之ヲ假黃胖ト

稱シ脾病ヨリ起ル者ヲ眞ノ黃胖ト云テ可ナリ眞
ノ黃胖ハ土氣糞氣ニ中リテ發スルナリト古來ノ
傳説ナレ氏未必シモ然トセス粗食スル者ハ多ク
ハ農夫ニシテ常ニ糞土ノ氣ヲ受ルユエ此說ヲ立
タルナルヘシ又富貴ノ人ニ少ナク貧賤ノ人ニ多
キハ常ニ粗食スル故ナルヘシ父母黃胖ヲ患フレ
ハ子弟モ亦從テ同病ヲ發スルヲ有リ此ハ傳染シ
タルニ非ス父母子弟ノ脾胃皆同質ニシテ俱ニ一
鼎ノ粗食ヲ啖^{クラ}ヘハナリ

初發面色萎黃ニナリ四肢倦怠シテ產業ヲ廢シ病稍^ヤ

増加スルニ及テハ脚弱ニシテ步行モ不自由ニナ
 リ虚里及心下ノ悸動高ク人迎寸口等弦數ニナリ
 唇舌色ヲ失シ耳鳴眩運シテ僅ニ步履スル氏ハ總
 身悸動シテ呼吸促迫シ心下苦満スルヲ甚シク適
 坂ヲ登ラント欲スル氏ハ仰見^{アツキ}テモ氣急ヲ發ス故
 ニ俗ニ此病ヲ坂下^{サカシタ}ト云フ爪甲薄ク色灰白ニシテ
 光澤ヲ失シ缺^{カク}易クシテ長シ難シ常ニ生米茶葉黃
 土^{ツチ}烟灰ヲ嗜ミ家人禁スル氏ハ匿^{カク}シテ食スルニ至
 ル者アリ腹微滿シテ兩脚微シク浮腫ス此病一旦
 ハ治シ易ク又再發シ易ク因循トシテ永ク愈ヘス

廢人ニナル者多シ或ハ水氣ニナリテ遂ニ死スル者亦尠ナカラス

治法此病粗食ヨリ發スル者ナレハ第一ニ粗糲ノ物ヲ食スヘカラス蕎麥溫飽索麵麥飯芋魁ノ類ヲ嚴禁シテ米飯魚鳥都テ滋味ヲ食用シテ氣血ヲ榮養スヘシ此證ニ綠礬鐵粉ノ二味ヲ聖藥トス綠礬モ鐵氣ヲ含ミテアリ鐵ハ血液ヲ稠厚ニスル者ユエ血液調和シテ病自ラ治スルナリ脾病黃胖ニハ加味平胃散ニ鎮悸丸ヲ兼用トス若クハ綠礬精若クハ黃胖丸ヲ用フルモ奇驗アリ又鐵砂湯ヲ專用ス

ルモ全効ヲ收ルニ足レリ血證ヨリ發スル者ハハ
珍湯連珠飲ハ味地黄丸ノ類ヲ撰用シ兼用ニハ鎮
悸丸黄胖丸緑礬精ノ類ヲ撰用スヘシ

黄胖應用方

八珍湯

外科正宗

治潰瘍諸證調和榮衛順理陰陽滋養氣血
進美飲食和表裏退虛熱為氣血俱虛之大藥也

川芎

白芍藥

當歸

熟地黄

人參

白朮

茯苓

各一錢

甘草

炙五分

右八味水煎服

黄胖丸

家試

治黄胖

厚朴 白朮

陳皮

神麴各八錢

綠礬炒四錢

大棗

錢八十

甘草

錢二十

右六味為散先擘大棗去核以醋烹如泥入諸藥末及

糊丸梧子大

八味地黄丸 加味平胃散 連珠飲

鐵砂湯 鎮悸丸 綠礬精

主 題

口述

附

音義

1

天

2

敵

可
卷

卷之二

大藥考

卷之四

卷八

水

卷六

解

早

25

10

白

學友

卷之八

10

—

消渴

瘡

消渴ハ古ヘ單ニ消ト稱ス金匱要略ニ初テ消渴ト云
ヘリ傷寒論ノ消渴ハ一時煩渴スルノ謂ニシテ眞
ノ消渴ニアラス後世ニ及テ劉完素張從正等消渴
消中消腎ノ三證ヲ分テ之ヲ三消ト為セリ諸家亦
此論ヲ蹈襲スル者多シ然レ氏空論鑿說ニシテ採
用スルニ足ラス金匱ニ男子消渴小便反多以飲一
斗小便一斗腎氣丸主之ト云フ一章ニテ消渴ノ證
候治法ハ盡セリト謂ツヘシ又男子ノ二字ヲ冠シ

タルハ意味ノアルヲナルヘシ仲景氏ノ書中凡ソ
 婦人ノ二字ヲ冒首ニ書タル條ハ婦人ニ限リタル
 病ニテ男子ニ無キモノヲ論ス此例ニ因テ之ヲ攷
 レハ消渴モ亦男子ニ限リタル位ノ病ニテ婦人ニ
 ハ甚稀ナル者ナリ藥室雜識中ヲ檢閱スルニ消渴
 ノ治驗數十人盡ク男子ニシテ婦人ノ消渴ヲ療治
 シタルヲ僅ニ二三人ノミ此病幼小ノ者ハ勿論弱
 冠前後ニモ患フル者ナシ男子三十歳ノ頃ヨリ發
 ス病因ハ腎虛ヨリ起ルト古ヨリ言ヒ傳ヘテアリ
 男子多房ノ者多ク之ヲ患ヒ又年四十前後腎氣漸

衰フルノ時ニ及テ發スル者ナレハ左云ナルヘシ
又胃熱ノ致ス所ト為スハ大ナル誤ナリ此病ノ本
因ハ蓋シ腎臟旺盛ノ致ス所ナルヘシ今云フ腎ハ
軒岐以來所說ノ腎ニアラス西洋ニテ發明スル所
ノ腎臟ナリ腎臟ハ小便ヲ分泌スルノ臟ナリ若シ
病ヲ得テ旺盛ニナルハ小便ヲ分泌スルヲ急促
ニナリ非常ニ小便ヲ滲出ス如何ホト飲食スルモ
乍チ小便ニ從テ消スルユエ愈飲テ愈渴ス故ニ消
渴ト云フ

此病不治ニシテ亦容易ニ死セス重キ者ハ四五年ニ

シテ死シ緩ナル者ハ八九年或ハ十餘年ニ及テ死
 ス又重キ者ハ四時共ニ愈ヘス緩ナル者ハ夏月ハ
 微シク愈テ冬時ニ及テ發ス古人ノ消渴ヲ宣病ト
 為シ脚氣ヲ壅病ト為シテ病因ノ異同ヲ論シタル
 ハ面白シ脚氣ハ夏發シ冬ニ及テ愈エ消渴ハ冬發
 シ夏ニ至テ略^カ愈レハ二病ノ自ラ相反スルヲ見
 ルヘシ寒^{サム}キ寸ハ小便宣通シテ壅閉スルヲ無シ暑^{ダキ}
 時ハ小便壅閉シ易クシテ宣通シ難シ故ニ無病ノ
 人モ夏ハ小便少ク冬ハ小便多シ此理ヲ考テ消渴
 ノ冬時嚴寒ニ及テ發スルヲ知ルヘシ

初發ハ何ノ滯^{トナリ}モナク渴シテ湯茶ヲ嗜ムノミ疾病^ハ氣ノ付スモノナリ日ヲ積ミ月ヲ累ルニ及テ愈^{ユキ}渴シ夜中モ磁瓶^{ドビン}ニ水ヲ入テ枕上ニ置キ後ハ磁瓶ニテハ間ニアハス手桶ヲ置クヤウニナル者ナリ小便モ數ニシテ且多ク快利スルコト壤^{トナリ}ヲ傾ルカ如ク飲ムニ後テ愈^{ユキ}渴シ尿スルニ後テ愈^{ユキ}飲ミ但湯茶ノミナラス又善饑^{ヨシ}テ食ヲ貪^{オホホ}リ一次ニ飯五六椀汁モ四五杯啜^{ハス}リ三度ノ間ニモ種種ノ物ヲ食シ曾テ黑砂糖ヲ嗜ミ一次ニ一斤ツ、嘗^{アタ}タル者アリ小便ハ稠厚ニシテ或ハ赤濁或ハ白濁或ハ膏^{アタ}ノ如ク脂

ノ如キモノ尿桶ニ粘着シ桶底ニハ澱塗泥ノ如ク
ニ溜ル者ナリ臭氣深ク甜味ノアル者ト見ヘテ犬
ノ好テ舐ル者ナリ平人ノ小便ヲハ絶テ舐ルヲナ
シ常ノ小便ト殊ナルヲ是ニテ知ヘシ何ホト滋味
ヲ食スルモ湯茶ヲ飲ムモ直ニ滲出シテ身體ヲ榮
養スルヲ能ハス漸漸ニ羸瘦シ津液涸竭シテ口舌
モ乾キ大便モ秘結シ皮膚モ枯腊シ面色萎黃或ハ
黎黑ニ變レ或ハ陰痿或ハ脚弱或ハ白内障眼ヲ患
ヒ或ハ癰疽ヲ發スルモノ徃徃コレ有リ病旣ニ年
久シク疲勞極ルニ及テハ多クハ腹脹滿シテ死ス